

2013年12月2日
第一生命保険株式会社

CGIFが保証を供与するアジア現地企業社債への投資について

第一生命保険株式会社（代表取締役 渡邊光一郎）は、今年度より成長分野への投融資を強化しています。その一環として、今般、信用保証・投資ファシリティ（CGIF：Credit Guarantee and Investment Facility）が保証を供与するインドネシア現地企業社債に対し、発行債券の全額（3,000億ルピア（約26億円））に投資することを決定しました。CGIFが保証を供与するアジア現地企業社債に対する投資は、国内金融機関として初の取組みとなります。

CGIFは、アジア債券市場育成イニシアティブ（ABMI：Asian Bond Markets Initiative^{※1}）に基づき、アジア開発銀行の信託基金として設立された組織であり、ASEAN+3（日本・中国・韓国）地域の企業が発行する社債に保証を供与することで、現地通貨建債券の発行を支援し、域内債券市場の育成を目指しています。第一生命は官民一体となったこの取組みに賛同し、今般の投資を通じて、第一生命の資産運用における収益力の向上を図るとともに、日本・アジアの更なる経済成長に貢献したいと考えています。

第一生命は、機関投資家としての本来機能を発揮して成長分野への投融資を積極化し、今後もE（環境）・S（社会）・G（企業統治）の視点を盛り込んだ資産運用^{※2}に積極的に取り組んでいきます。

※1 ABMIは、アジアにおいて効率的で流動性の高い債券市場を育成することにより、アジアにおける貯蓄をアジアに対する投資へと活用できるようにすることを目的として、2003年のASEAN+3財務大臣会議において各財務大臣で合意されたものです。

※2 E・S・Gとは、それぞれ Environment、Society、Governance の頭文字です。第一生命では、安全性・収益性の視点に加え、社会性・公共性（環境保護や社会貢献、ダイバーシティへの取組み、コーポレートガバナンス等）の視点も盛り込んだ資産運用に取り組んでいます。

<投資対象債券の概要>

発行体	PT BCA Finance (PT Bank Central Asia Tbk [※] の子会社)
発行体の所在国	インドネシア
投資金額	3,000億ルピア (約26億円)
発行日	2013年12月4日
償還日	2016年12月4日

※PT Bank Central Asia Tbk は、国営銀行を含めたインドネシア四大銀行の一角を占める、民間最大手の商業銀行（1957年設立）。国内1,000以上に及ぶ支店網と12,000超のATMネットワークを有している。総資産約487兆ルピア（約4.1兆円）（2013年9月末時点）。